



みんなで楽しんだ「ドイツのクリスマス」

子どもたちに向けた国際理解講座を12月16日、内子自治センターで開催しました。テーマは「ドイツのクリスマス」。国際交流員のジュニファーさんから聖夜の過ごし方を教わったり、クリスマスに関する単語を使ったゲームをしたりして楽しみました。

休憩中には姉妹都市であるローテンブルク市のクリスマスマーケットの様子を動画で紹介。「シュトレン」という焼き菓子や、紅茶とりんごジュースを混ぜて作る「プンシュ」などを楽しみながら、日本とはひと味違ったクリスマス気分を味わいました。



小学5年生から中学生まで11人が参加

子どもから大人まで楽しめる「プンシュ」の作り方



「プンシュ」

●材料（4人分）

湯1ℓ／ティーバッグ（フルーツティー）3個／④100%りんごジュース500ml、シナモンスティック3本、クローブ10粒、スターアニス1個、きび砂糖50g／バニラエッセンス適量／レモン1個／オレンジ1個

●作り方

- ①湯にティーバッグを入れ、5分ほど浸したら取り出す。
- ②①に④とバニラエッセンスを加え、弱火にかける。
- ③絞ったレモン果汁、1.5cm幅の薄切りにしたオレンジを加え、弱火で10分煮る。
- ④茶こしなどを使いカップに注いで完成。

選手も応援も、全力で完走しました

1月21日に開かれた「第17回内子町駅伝競走大会」に国際交流協会チームで参加しました。7区間をつないで、今年も全員で「完走」を達成。初めて出場した外国語指導助手のパトリックさんは「走る競技は、中学生の時にクロスカントリーに参加して以来。初めは不安だったけれど、前後を走るチームメイトの姿に自然と力が湧いた。無事にたすきをつなげられてよかった」と感想を語りました。



チーム一丸となって、スタート前に記念撮影

図書館 へ 行こう

●子どもたちの読書傾向

町内の子どもたちを対象に「読書に関するアンケート」を行いました。月に1冊も本を読まない人の割合は減少し、全国平均と比べて良好な結果でした。家庭や学校、地域での熱心な読書推進活動によって、本を読む機会が増えているようです。

一方、本を読まない児童・生徒からは、「インターネットやゲームの方が楽しい」「読書が嫌い」「読みたい本がない」などの回答がありました。また「読書が好き」と答えた人の割合は低下してきています。子どもたちがより本への関心・意欲を高め、読書の楽しさを見つけられる取り組みが必要です。

「2月の予定」

●企画展

5年度の内子町読書感想文の優秀作品と、紹介された本を展示します。

●おすすめ図書コーナー

▽「まめを知って頭も体も健康に」
2月3日の節分にちなんで、豆に関する本を集めました。

●おはなし会

▽土曜日・午後2時〜

●絵本セラピー

▽2月24日（土）午前10時〜

●文学講座

▽2月17日（土）午前10時〜

▽内容 『とりかへばや物語』を読んでみよう

▽講師 村山洋子さん

内子町図書情報館

〒791-3301
内子町内子3427番地
☎ 0893(44)4198
開館時間：午前9時30分〜午後6時（月曜日・月末整理日は休館日）

詳しい情報はホームページで紹介しています。併せてご覧ください▶



新着図書紹介

その他の新着情報はホームページをご覧ください。

♣一般図書



父母＆保育園の先生おすすめの絵本グッズ200 絵本ナビ／監修
約200人へのアンケートを基に、世間で人気の絵本グッズを数多く紹介する。絵本グッズにまつわるエピソードやおすすめポイントも掲載



きこえる 道尾秀介／著
作中の二次元コードを読み取り、音声を再生しながらあなたの「耳」で推理する。音声と小説を融合させた新感覚の体験型ミステリー



読書バリアフリーの世界 野口武悟／著
障がいのある無や年齢に関わらず、誰もが読書に困らない社会を実現するため、できることは何か。読書バリアフリーへの取り組みなどを紹介

♥児童図書



ステーキ 12のおいしいきのはなしはらぺこめがね／さく
1月は「ステーキ」、6月は「くしかツリー」……。12カ月分、香りや温度を感じられるくらいリアルで美味しそうな「木」が描かれた絵本



講談社の動く図鑑MOVE 鳥 川上和人／監修
世界中の約560種の鳥を、最新の研究に基づく新しい分類で紹介。迫力の生態写真と細密なイラスト、貴重な映像を収めたDVDなどで解説



ドラえもん ひみつ道具百科 藤子・F・不二雄／原作
原作『ドラえもん』の物語を、文字を覚えてた子どもが一人で読めるように描いた漫画。クスッと笑える21話をオールカラーで収録